



熊本の病院紹介

新築後に健康保険熊本総合病院となる八代総合病院

健康保険八代総合病院 病院長

島田 信也

本院は、戦後の地域医療整備のために、昭和二十三年に厚生労働省社会保険庁によって開設された八代市では最も古い公的病院であり、八代城跡に隣接する中心市街地でございます。昭和三十三年に全国社会保険協会連合会に経営委託され公設民営の運営を行っておりましたところ、かの世の中が大騒ぎになった年金問題に端を發し平成二十年に社会保険庁が解体されました為、関係のない医療機関までもが根なし草のようになって難渋しておりましたが、昨年六月に国会にて法案が通過し「独立行政法人地域医療機能推進機構」として、再出発することが決定したところでございます。

六年前、新研修医制度導入を契機とする深刻な医師不足によりましてご承知の通り、当院は「熊本一危機的な病院」で皆さまにご心配をおかけ致しました。ところが、熊本大学医学部教授陣、八代市郡医師会なら

びに行政をはじめとする皆さまの有難いご支援によりまして、短期間に七億円の累積赤字を解消することができ、お陰さまで、本年十二月に新病院が竣工いたします。そして、その全面建て替えに伴いまして、平成二十五年一月一日より、病院名を「健康保険八代総合病院」から「健康保険熊本総合病院」に変更することとなりました。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

さて、この度の病院新築ですが、そのコンセプトは、「最新の高度医療を行う病院」であることは勿論ですが、「八代の美しい新しい街創りと地方からの素晴らしい国創りを見据えた建物」でございます。写真の通り、低層棟部五階、高層棟部十四階、地下一階からなるシンプルで重厚な新病院で、外壁は日本で初めて使用するブラジル産の「ニュー・ジャロ・ベネチアーノ石」となっております。高層棟部は地上六十五mで八代一の高さ、また、病院としては熊本県一の高さとなり、八代地域のどこからでも見えるランドマークとなりました。市民の皆さんが気持ちよく散歩して頂けるように、周囲

に並木の歩道とアーチ式の回廊も整備致しました。また、市民の皆さんからの要望で、展望レストラン、屋上庭園、ライブラリーやカフェも組み込みました。従いまして、県南住民の皆さんの健康を守ることは勿論でございますが、愛され親しまれる新病院となっております。

本来の診療の方では、当院の病床数は三四四床、診療科は二四科であり、全職員数は約五五〇名であります。一丸となって、質の高い最新の診療を行っております。

熊本市以外はまだまだ医師不足は続いており、医師数は四〇名ですが、全てのドクターが優秀で、素晴らしい高度医療を実践していただいております。また、新病院内部は、動線もシンプルで機能的であることに加えて、最新のMRI二台、CT二台、血管造影装置二台、リニアック、SPECT、CT、ESWL

などの高度医療器械を整備致しまして、地域の医療機関の要望に十二分に答えることができる診療体制を確立致しました。さらに、新病院では、一番の売りである優秀な医師が益々モチベーションを上げて診療できるために、一人一人の仕事空間や癒し空間を大事にする医局を作り上げております。

今後、遙か彼方の「日本一の中核病院」を目標に、さらに精進して参りますので、倍旧のご支援の程、何卒宜しくお願い申し上げます。



八代総合病院